



◆放射線治療科 師田 まどか

90th
SHOWA University
至誠一貫 Since 1928

寒さ厳しく春の陽気が待ち遠しい今日この頃ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。今月の巻頭言は放射線治療科が担当させていただきます。

放射線治療科は内科系診療センターに属しており、常勤の放射線科治療専門医1名、非常勤医師2名の診療体制で日々の業務を行っています。

外照射の治療機器であるリニアック (ELEKTA Infinity) 1台を有し、乳がん・前立腺がん・消化器がんの患者さんを中心に高精度な放射線治療を行っています (右下写真奥: リニアック)。

また、泌尿器科と連携し、前立腺がんに対するヨウ素125線源の永久挿入による小線源治療を行っています。本治療は2015年8月に当院での治療を開始し、2017年12月までに311例の患者さんに対し治療を施行しており、日本でも有数の年間治療件数を誇ります。

放射線治療室は、放射線治療科医師・診療放射線技師・看護師・医療事務と様々な職種のスタッフにより運営されています。予定した治療が無事に完遂できるように多職種で情報を共有しながら治療にあたっています。放射線治療は外来での通院治療がメインであり、仕事・育児・家事をしながら治療に通われている患者さんも多くいらっしゃいます。患者さん一人ひとりのライフスタイルに合わせた治療ができるように、治療時間の配慮など細やかなところにも気を配るようにしています。

また昭和大学病院などと連携し、合同のカンファランスにて症例検討を行うとともに、院外での勉強会や学会などに積極的に参加し最新のがん治療の知識を得るように努力しております。

他院で治療中の方で、放射線治療のみの依頼も対応しておりますので何かありましたらお気軽にご相談ください。



1列目中央 師田 医師



昭和大学江東豊洲病院

第46号のトピックス

- 放射線治療科 師田 まどか
- 専門医紹介
- 糖尿病教室について
- 「ご意見・ご要望」についての回答
- 編集後記

◆専門医紹介

専門医とは、各診療領域における十分な知識・経験を持ち、患者さんから信頼される標準的な医療を提供でき、先進的な医療を理解し情報を提供できる医師のこと



消化器センター長
井上 晴洋 教授

■診療日・診療時間

・毎週火曜 9:00~14:00

■専門医名称

- ・日本外科学会 専門医・指導医
- ・日本消化器外科学会 専門医・指導医
- ・日本食道学会 食道科認定医・食道外科専門医
- ・日本消化器内視鏡学会 専門医・指導医
- ・日本消化器病学会 専門医
- ・日本内視鏡外科学会 技術認定医

■対象疾患

- ・食道疾患：食道癌、食道・胃接合部癌、食道アカラシア、逆流性食道炎、食道粘膜下腫瘍
- ・胃・十二指腸疾患：胃癌、GIST、萎縮性胃炎、出血性胃・十二指腸潰瘍

■患者さんへコメント

上部消化器疾患（食道と胃の病気）をお持ちの方や心配されている方は、内科、外科を問わず診察いたします。治療にあたっては、出来る限り低侵襲の治療（内視鏡治療）を選択いたします。



消化器内科 診療科長
伊藤 敬義 准教授

■診療日・診療時間

・毎週水曜 午前、午後（肝臓外来） ・第1、3、5 土曜 午前

■専門医名称

- ・日本内科学会 認定医・総合内科専門医・指導医
- ・日本消化器病学会 専門医・指導医
- ・日本消化器内視鏡学会 専門医
- ・日本肝臓学会 専門医・指導医
- ・日本消化管学会 専門医・指導医

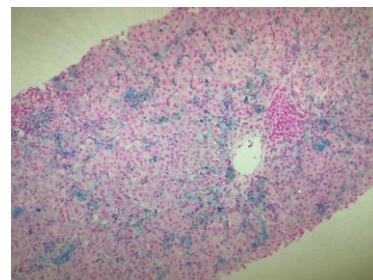
■対象疾患

- ・慢性及び急性肝炎、ウイルス肝炎、肝硬変、肝癌
- ・消化器内科疾患

■患者さんへコメント

消化器疾患で特に肝疾患を専門に診断・治療を行っています。一口に肝臓の病気といってもウイルス性や自己免疫性、アルコール性、脂肪肝、代謝性など多彩な成因が考えられ、複数要因の関与も多いです。最終的に肝硬変や肝癌のリスクになります。

これらの肝臓病の診断には網羅的血清診断と画像診断、更に組織診断が必要です。早期に原因を特定し、適格な治療を行うことが大切です。C型肝炎では治療法が進歩し、経口薬の8-12週間治療で約95%の患者がウイルス排除可能となりました。医療費助成の受給も可能です。これまで治療を受けていない患者さんも、是非一度相談しにいらして下さい。



肝生検の鉄染色（青）で診断がついた肝ヘモクロマトーシス（鉄過剰症）

三寒四温の季節、皆様におかれましてはご健勝のこととお慶び申し上げます。

昭和大学江東豊洲病院 糖尿病・代謝・内分泌内科の李 相翔と申します。このたび、当院で実施されております糖尿病教室についてご紹介致したく筆を執らせて頂きました。



糖尿病という疾患は、糖代謝異常により血糖値の上昇をもたらす多彩な合併症を引き起こします。糖尿病治療の目的としては、慢性の高血糖により惹起される糖尿病網膜症や腎症、神経障害などの細小血管障害や、心筋梗塞や脳卒中などの大血管障害の発症・進展の予防および認知症・悪性腫瘍発症予防に加え、感染症予防・創傷治癒促進などの急性期管理のためでもございます。血糖コントロールを良好に保つ事が重要ですが、薬物療法をただ単に行うだけでなく患者さんの病識や治療への意欲を高め、合併症予防のための正しい知識を得て頂くために十分な患者教育を行うことが不可欠です。しかし、日々の外来診療中に十分な時間を取って糖尿病に関する指導・教育を行うことは非常に困難な場合もしばしばあるかと思われま

当院では、毎月第2・4週の木曜日の午後3時より、糖尿病で通院中の外来および入院中の糖尿病患者さんとそのご家族を対象に糖尿病教室を開催させて頂いております。

糖尿病の基本的な知識や各種合併症についてから、食事療法・運動療法・薬物療法および、糖尿病性足潰瘍や壊疽を予防するために足の日々の観察と爪切り、清潔を維持する、いわゆるフットケアの重要性や、発熱・嘔気・嘔吐・下痢などで体調不良が出現し、食事摂取が困難となるいわゆるシックデイ時の対応、経口糖尿病薬の内服やインスリン注射をおこなっている際に血糖値が下がりすぎてしまい、冷汗や動悸症状が出現し、そのまま放置すると意識障害を来してしまう低血糖時の対応を、各種資料やスライドを用いて、日本糖尿病学会認定専門医・指導医、糖尿病看護認定看護師・慢性疾患看護専門看護師、薬剤師、管理栄養士が分かりやすくお話をさせて頂いております。また患者さんやそのご家族からのどんなに些細なご質問やご不安な事にもスタッフが懇切丁寧にご回答させて頂いております。

参加費用は無料で、特に予約の必要はありません。ご興味がございます患者さんがいらっしゃいましたら、是非とも参加をお勧め頂けましたら幸いです。



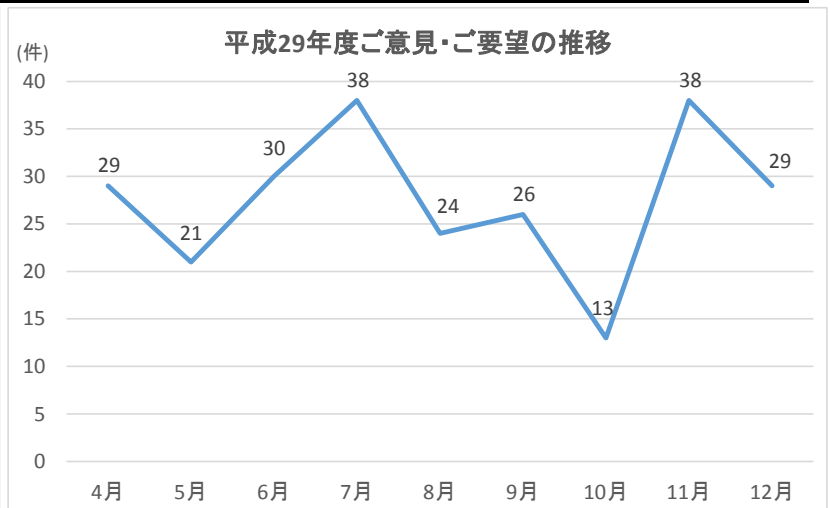
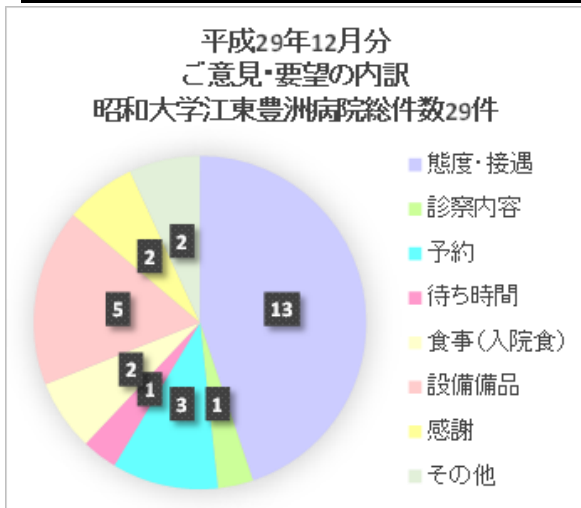
李 医師

野木 医師



◆「ご意見・ご要望」についての回答

ご意見・ご要望	回答・改善策等
<p>自宅近くの薬局に処方箋をFAXするための無料FAXを設置して下さい。</p>	<p>ご不便をおかけして申し訳ございません。 当院では、無料FAXは設置しておりませんが、1階ロウンでクロネコヤマト経由の有料FAXをご用意しております。料金は国内で1枚約50円～、国外で1枚約100円～となります。是非ご利用ください。</p> <p style="text-align: right;">回答部署：管理課</p>
感謝	回答
<p>7Bの看護師さんに良くしていただきました。いつも私達一人ひとりに話しかけてくださった看護師さん、入院中は話す機会が減るので、親身に痛みなど聞いて下さり、ありがとうございました。</p>	<p>お礼の言葉を頂き、看護師達は大変喜んでおります。患者さんが安心して入院生活が過ごせるように、常に患者さんの立場になって看護ケアができるよう今後も精進して参ります。</p> <p style="text-align: right;">回答部署：看護部 7B</p>



編集後記 副院長 上條 由美

2018年2月9日から、第23回オリンピック冬季競技大会が平昌（ピョンチャン）で開催されます。昭和大学職員である獅子内美帆（総務部所属）、藤本もえこ（総務部所属）、浮田留衣（人事部所属）の3名が、女子アイスホッケー日本代表メンバーとして参加します。前回のソチオリンピックでの悔しさを胸に、4年間厳しい練習を重ねてきたそうです。現在の日本の世界ランキングは9位。平昌オリンピックでは、ランキングで上位に立つスウェーデンやスイスと同じグループで戦います。スマイルジャパンの名前の通り、平昌でもスマイルが見られますように、皆さんも応援お願いいたします。



昭和大学江東豊洲病院 <http://www.showa-u.ac.jp/SHKT/>

〒135-8577 東京都江東区豊洲 5-1-38

TEL03-6204-6000(代表)

発行責任者：笠間 毅 編集責任者：長谷川 真



昭和大学江東豊洲病院
Facebook ページ



Showa University Koto Toyosu Hospital